

令和3年度 横浜市立神橋小学校「豊かな心の育成」推進プラン

中期学校経営方針・「豊かな心」達成目標

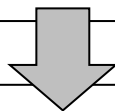
①ふれあい活動を更に発展・充実させていくとともに、それぞれの学年が自分の役割を意識して活動していく中で、子ども達の自尊感情を高め、「6年生」として育てていく。 ②地域とのふれあいを大切に、「まち」や「ひと」とのつながりを活かした教育活動を展開していく。

児童の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

歴史ある学校で、地域の方々は学校教育活動に協力的である。学習や活動に熱心に取り組む児童が多いが、自分のよさを自覚し、それをアピールできる児童は少ない。ルールの大切さは知っていても、守れないことがある。

「豊かな心の育成」に関する指導の目標・方針

- ・全教育活動を通して道徳教育の充実を図る。
- ・子ども一人ひとりの能力に応じた適切な指導や支援のあり方を明確にすることで、だれもが自信をもって生活できるようにする。



指針1 「道徳の時間」の充実

○道徳教育の要となる道徳の時間の指導を通して、子どもが道徳的見方・考え方・感じ方を多様に広げ、自己を深く見つめ、よりよく生きようとする道徳的実践力を身につけられるようにします。（視点1）

- ・学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育と、各学級の道徳の時間の関連を図り、豊かな体験を生かして指導を行う。
- ・年1回以上、保護者や地域に道徳授業を公開する。
- ・懇談会で道徳について話題にし、家庭との共通理解を図る。

指針2 確かな人権感覚・意識の育成

○特別支援教育の充実を図り、子ども一人ひとりの能力に応じた適切な指導や必要な支援を行うことで、豊かな心を育て充実した生活が送れるようにします。（視点8）

- ・自閉症スペクトラム等の障害特性を理解するための研修を行い、子ども一人ひとりに応じた指導・支援方法を明らかにしていく。
- ・ユニバーサルデザインに視点を置いた授業改善や学習環境の整備を図り、だれもが活躍できる授業作りを目指す。
- ・個別支援学級・一般学級の交流を通して、学びあいながら相互理解を深めたり、社会的適応力を高めたりする。